



大石小 Times



今年度子どもたちと取り組みたいこと

5月朝会では、「大石小学校をどんな学校にしたい？」をテーマにお話をしました。めざす学校像は、みんなが
①楽しく学べる ②安心して生活できる ③生きる力をのばす 学校です。そのために、昨年度から取り組んでいる「ポジティブ教育」を基盤に、教員の関わりや授業づくりを見直しながら、子どもたちが自分の得意なことや強みを発揮して、互いに支え合える学校をめざしたいと思っています。

6月朝会では、ポジティブ教育プログラムの中の1つ、「ピアサポート」についてお話をしました。大石の子どもたちは、困ったときにSOSを出すのが苦手だという側面があります。困っていることや苦手なことにはためらわずHELPを出す、また、友達が困っていることに気づいて、自分にできることをしようとする子、自分の得意を人のために使える子が増えていってほしいと願っています。

今年度のスクールプランを2枚目に掲載させていただきます。今年度はクラスの半分かくらいの教科を、担任以外の教員が入っています。担任だけでなく、多くの教員の目で子どもたちを見守り、学校全体で大石の子どもたちを育てていこうという意図です。子どもたちが問いをもって学び、「できた」「分かった」と自覚できるような授業づくりに取り組みます。

令和8年度



大石小学校をどんな学校にしたいですか？



ポジティブ教育

(まえむき・げんき)

「いいところ」「とくい」を見つける



学校をもっともっと楽しく！

ピアサポート



ともだち
なかま

たすける
おうえんする

仲間同士でたすけ合おう！

誰かをたすける

3つの
こと



むずかしそう…
できるだろうか…

特別なことはいりません！

① 気づく



いつもよりずか
だ
元気がないな



友だちのいつもとちがう様子
に、きづくことから
ピアサポートはスタート！



② きく・よりそう

どうしたの？

うん うん

かなしかったね

たいへんだったね

アドバイスしなくても、きくだけで
りっぱなサポート！

③ つなぐ

大きななやみ・いじめ

子どもだけでかいけつしなくて
だいじょうぶ！



〇〇くんが、
こまっているみたい



おとなにバトンタッチも、友だちを
まもるためのやさしさ

① 気づく

② きく

よりそう

③ つなぐ

ピアサポートで、
こまっている人の
いない、やさしさと、
えがおいっぱい
の学校にしよう！

みんなが
サポーター！



ピアサポート



自分のできるサポートで
ちょっと力をかしてあげて！



スピーチタイムは「運動会で頑張ったこと」

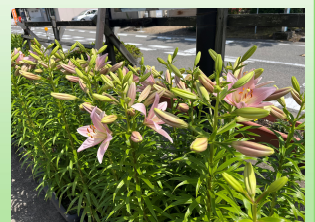
今回は、「運動会で頑張ったこと」がテーマでした。徒競走、全校種目、応援といろいろな話題が出ました。

100周年記念種目もとても心に残ったようでした。



ゆりが咲き始めました

現4年生が昨年、まち協の皆様と一緒に植えたゆりの花が咲き始めました。児童玄関前がとても賑やかになってきました。





学校教育目標 とともに学び とともに育つ

- 保護者・地域の願い
- 明るく元気に挨拶のできる子
 - 思いやりをもち助け合う子
 - 楽しく主体的に学ぶ子
 - 心身ともに健康な子
 - ふるさとを愛する子

みんなが楽しい学校 ～好きを育み、得意を伸ばせる学校づくり～

【めざす学校像】

すべての子どもが楽しく学ぶ学校
すべての子どもが安心して生活できる学校
すべての子どもが生きる力を伸ばす学校

【めざす児童像】

明るく朗らかで心豊かな子
心身ともに健康でたくましい子
自ら考え創造しようとする子

豊かなつながり

〈重点目標〉

- ◎いじめ、不登校の未然防止
- レジリエンスを育む取組

学びを支える

〈重点目標〉

- ◎対話と自己決定、子どもの問いを大切にしたい児童が主役の授業づくり
- ICTを活用した授業実践

健やかな心身

〈重点目標〉

- ◎健康的で安全な生活習慣の獲得
- 日常的に運動に親しむ児童の育成

信頼される学校

〈重点目標〉

- ◎ふるさと教育の充実
- 開かれた学校づくり

〈具体的な取組〉

- ・安心して生活できる居場所づくり
- ・あたたかい心の交流を生む場の工夫(学級・異学年・縦割り・交流学級等)
- ・自己決定の機会の充実
- ・複数教員による教科担当、教育相談や支援
- ・SC・SSW、関係機関との連携
- ・道徳、人権教育、特別支援教育の推進
- ・ポジティブ教育の実践
- ・児童が自分の強みを知り「自分らしさ」を発揮できる取組・教師の言葉かけ

〈具体的な取組〉

- ・単元のゴールを明確にし、児童が問いをもち、自己の学びを自覚できる授業づくり
- ・自己決定の機会を確保、自己決定に責任をもつ態度の育成
- ・多様な話し合いの場の充実
- ・集会でのスピーチタイム、異学年間の発表や交流
- ・ICT活用により学びやすい環境を整え、個に応じた指導や児童同士の学び合いのある授業づくり
- ・家庭学習における一人一台端末の活用

〈具体的な取組〉

- ・情報モラル教育、メディアリテラシー教育の推進
- ・GIGA ワークブックさかい2026の活用
- ・ここからチェックで生活習慣の振り返りを継続
- ・不登校対策として「心の健康観察」を活用
- ・縦割り遊び、異学年でのスポーツ交流
- ・はぴりゅうスポーツ広場の積極的活用
- ・児童の活動場所・活動時間の確保・工夫

〈具体的な取組〉

- ・大石地区や坂井市のよさを理解し、地域の人と繋がり関わる機会を充実
- ・地域の歴史や自然、施設、地域人材等を活かした学習
- ・地域ボランティアの活用・地域の人との交流
- ・地域や保護者との対話の機会の確保
- ・積極的な情報発信(HP・学校学年通信など)
- ・保幼小接続、小中連携の推進

〈数値目標〉

- ★まわりの友達と仲良くし、安心して生活することができた児童 90%以上
- ★学校に相談できる人がいると答える児童 90%以上
- ★いじめや差別を見過ごさなかった児童 80%以上
- ★自分の強みを知り、発揮できたと感じる児童 80%以上

〈数値目標〉

- ★単元のゴールや自分の課題を理解して主体的に学習できた児童 80%以上
- ★問いをもち、自分の考えで選んだり方法を考えたりして学習や生活ができた児童 85%以上
- ★ICTの活用で、学習内容がわかるようになったと実感する児童 95%以上

〈数値目標〉

- ★情報モラルやメディアリテラシーを身に付けることの大切さが分かった児童 80%以上
- ★自分の生活習慣や心の健康について考えた児童 90%以上
- ★様々な活動の中で、運動する楽しさを感じられた児童 90%以上

〈数値目標〉

- ★地域の人との学習の中で、ふるさとのよさを見つけられた児童 95%以上
- ★地域と連携した学習の様子を保護者や地域に発信した教員 100%
- ★学校でどんな教育活動が行われているかわかったと答える保護者 95%以上

【業務改善のための取組】

◎手をかけ過ぎずに児童の自律性を高める支援の工夫 / 全職員での児童理解と組織的な関わり・情報共有 / チーム(教科)担任制の推進
職員それぞれの強みを生かした組織づくり / 校内備品・データ・資料等の整理 / 通信・連絡のペーパーレス化 / 会議のスリム化